

# 足立にゆかりのある絵本作家



ゆうせい つかもと  
祐彩 (塚本ユージ)

足立区生まれ、足立区育ち。現在も足立区在住。足立区ベジタベライフのロゴマークや千本桜まつり、花火大会、光の祭典などのポスターデザインに携わる。



## 「かいとうあつというま」

祐彩 (塚本ユージ) / 著  
扶桑社

「楽しい時間は、あつというま！」という気づきが心に残る一冊。ユーモアとちょっぴり切なさ親子の会話を広げてくれます。



きかせ屋 けいたろう

平成18年、北千住駅前で絵本の読み聞かせを始める。中央図書館のイベント「あだち絵本シアター」の講師を務める。

## 「ようかいサッカー」

聞かせ屋。けいたろう / ぶん  
ひろかわさえこ / え  
ポプラ社

妖怪たちがまさかのサッカー対決!? どたばた楽しい展開に、読みながら笑いが止まらない一冊です。



# 私の読書通帳から No.21



みつくにでん  
「光圀伝 上」  
沖方丁 / 著  
KADOKAWA / 角川文庫

今年は千住宿開宿400年。水戸藩第二代藩主であった水戸光圀公は、実際に何度も千住宿を訪れていたことが記録に残っているそうです。

親しい大名や旗本仲間と「千寿会」を結成し、水戸藩邸や浅草から舟で通ったことも。お酒(当時はにごり酒)もかなりイケる口でした。「御膳」は鳥や魚より、野菜を好んだといいます(『義公叢書』)。ベジタベライフの先駆者だったわけです。

光圀というと、テレビドラマの影響で白い髭の小柄なお爺さんというイメージですが、当時としては身長も高く、「美男におわす中納言様」と評判だったとのこと。「千住のあの辺りで遊んでいたのかな?」と想像も膨らみます。



文 / 足立区長  
近藤やよい

図書館名	所在地	電話番号	図書館名	所在地	電話番号
中央	千住 5-13-5	03-5813-3740	新田	新田 2-2-2	03-3912-1767
伊興	伊興 2-4-22	03-3857-8501	竹の塚	竹の塚 2-25-17	03-3859-9966
梅田	梅田 7-13-1	03-3840-4646	東和	東和 3-12-9	03-3628-6203
興本	興野 1-18-38	03-5650-4991	舎人	舎人 1-3-26	03-3857-0771
江南	小台 2-4-18	03-3913-0460	花畑	花畑 4-16-8	03-3850-2601
江北	江北 3-39-4	03-3890-4488	保塚	保塚町 7-16	03-3858-1553
佐野	佐野 2-43-5	03-3628-3275	やよい	中央本町 3-15-1	03-3852-1433
鹿浜	鹿浜 6-8-1	03-5809-4006			



図書館は本と人とのかけはしです。

図書館だより  
2025年8月133号

# 足立 ゆかりの人と作品

足立の魅力を再発見!



小説家  
しゆかわ みなと  
朱川 湊人

小学校3年生のときに足立区の団地に転居。花畑図書館をよく利用していた。



「花まんま」  
朱川湊人 / 著  
文春文庫

第133回直木賞受賞作。2025年4月に映画化。心に染みる短編集。子ども時代の記憶がよみがえるような、あたたかくて少し怖い物語です。



お笑い芸人・  
映画監督・俳優など  
きたの たけし  
北野 武

大学に行くまで足立区島根町に住んでいた。梅島第一小学校、第四中学校出身。



「浅草キッド」  
ビートたけし  
(北野武) / 著  
講談社

芸人をめざす若き日のたけしと師匠との絆に胸が熱くなる一冊。笑いと涙の下積み時代がいきいきと描かれています。



時代小説家  
かじ よう子  
梶 よう子

足立区出身。足立区内で江戸の下町文化や暮らしの魅力を発信する活動を行う。



「ヨイ豊」  
梶よう子 / 著  
講談社

浮世絵に情熱を注ぐ人々の生きざまが胸を打つ物語。江戸の空気が感じられる、絵と人への愛に満ちています。

今号では、足立にゆかりのある作家や、作中に足立区が登場する本をご紹介します。

足立区立中央図書館

足立区千住 5-13-5  
TEL : 03-5813-3740

<https://www.city.adachi.tokyo.jp/bunka/library/>



知るよすが、すると変わる。



# 「足立 ゆかりの人と作品」とは？

足立区在住、または足立区に住んでいたことがあるなど、  
足立区にゆかりのある人の著作や、主な舞台や描写に足立区が登場する作品です。  
その一部をご紹介します。

## 足立にゆかりのある作家

歴史作家・歴史タレント  
ほりぐち ますみ  
**堀口 茉純**



足立区生まれ。あだち区民  
大学塾の講師を務める。「お  
江戸に詳しくすぎるタレント  
=“お江戸ル”」として注目  
を集めている。



「TOKUGAWA15  
徳川将軍15人の歴史が  
DEEPにわかる本」  
堀口茉純／文・絵  
草思社

将軍15人の素顔やエピ  
ソードがよくわかる一冊。  
イラストや語り口も親し  
みやすく、歴史がぐっと  
身近になります。

小説家  
よしむら あきら  
**吉村 昭**



空襲で家を失い、18歳の  
ときに足立区にある兄の  
工場寄宿舎に移住。戦後  
しばらく住んでいた。



「東京の戦争」  
吉村昭／著  
筑摩書房

空襲で焼け落ちた街、家  
族を守るために奔走した  
人々。吉村昭が描く、戦  
争の記憶とその後の静か  
な怒りが胸に残ります。

軍医・小説家  
もり おうかい  
**森 鷗外**



東京大学在学中に、当時  
千住にあった父の家を訪  
れていた。大学卒業後は  
千住に住み、父と一緒に  
医療活動に携わった。



「雁・カズイスチカ」  
森鷗外／著  
教育出版

足立区千住を舞台とした  
作品。静かな筆致で描か  
れる人間模様が心に残る  
短編集。日常の中の小さ  
な気づきや余韻を大切に  
したい人におすすめです。

北辰一刀流  
剣術免許皆伝  
ちば  
**千葉 さな**



1888年に千住中組（現千  
住仲町）に灸を専門とする  
治療院を開いた。現在、千  
住仲町1-1には、「千葉佐那  
千葉灸治療院跡」との説明板  
が設置されている。



「龍馬のもう一人の妻」  
阿井景子／著  
毎日新聞社

龍馬を支えたもう一人の  
女性・千葉佐那の人生を  
描く感動作。歴史の裏側  
にある人間ドラマに引き  
込まれます。

## 足立が舞台の本



「私たち、『癒し課』に  
配属されました  
株式会社しまや出版癒し課  
発足10周年記念作品」

しまや出版  
しまや出版の猫社員たちの  
日常を収めた癒し満載の  
フォトブック。ほっこり温  
かい気持ちになれます。



「あした咲く蕾」  
朱川湊人／著  
文春文庫

家族や人とのつながりを丁  
寧に描いた短編集。  
短編の一つ、「空の人」は  
足立清掃工場近くの中学校  
が舞台。地元へ愛着が湧く  
一冊です。

竹の塚・花畑  
エリア

舎人・江北・  
新田エリア



「一日署長」  
大倉崇裕／著  
光文社

タイムスリップをテーマに  
した物語。西新井を舞台に、  
過去と現在が交差する、リ  
アルでスリリングなミステ  
リーに引き込まれます。

西新井・梅田  
エリア

千住エリア



「大川橋物語1」  
森真沙子／著  
二見書房

江戸の大川橋界隈に生きる人々の絆が  
描かれる、千住ゆかりの人情物語。今  
も残る街の面影に想いをはせたくなり  
ます。



「千住クレイジーボーイズ」  
高羽彩／原作  
諸星久美／ノベライズ  
センジュ出版

NHK BS プレミアムにて 2017 年に放送された  
足立区発地域ドラマをノベライズ化。北千住を  
舞台に、下町の人情と芸人の再起が描かれてい  
ます。地域の空気感と温かさがしみる一冊です。



「撃てない警官」  
安東能明／著  
新潮社

綾瀬署を舞台に、現場の葛  
藤や人間模様を描く本格警  
察小説。リアルな描写と心  
に残る展開で読みごたえ  
たっぷり！

## 中央図書館「足立 ゆかりの人と作品」コーナー

中央図書館では、平成14年から設置してきた「特色コーナー（地域資料を集めて展示）」を  
リニューアルし、足立区「ゆかり」の本と情報をわかりやすく展示するコー  
ナーを新設しました。新設したコーナーには「足立区が描写されている作品」  
「足立区にゆかりのある作家の作品」など、「ゆかり」のある本をご用意し  
ています。手に取った一冊から、まだ知らない足立の魅力が見つかるかも。



500冊

絵本も  
ある

